



データサイエンスは  
世界のしくみに気づく力だ。

和歌山大学 データ・インテリジェンス教育研究センター

Data Intelligence Education and Research Center, Wakayama University





「分かる」だけじゃ終わらせません

「できる」までしっかりと導く授業です

私たちと一緒に、新しい学びへ一歩踏み出しましょう！

和歌山大学 システム工学部 システム工学科 教授 **吉野 孝**

データ・インテリジェンス教育研究センター センター長の吉野孝です。

皆さんは、データサイエンスやAIにどんなイメージを持っていますか。難しそう、専門の人だけが触れるもの、そんな印象があるかもしれません。でも実は身近なところで活躍していて、仕組みを知るほど面白くなる分野なんです。スポーツの戦術分析、映画や音楽のおすすめ、気象予測、医療の支援、そしてゲーム開発まで、データとAIは現代を支える「新しい道具」として欠かせない存在になっています。

本センターでは、「分かる」だけじゃ終わらせません。「できる」までしっかりと導く授業です。教科書では触れられない実践力を身につけるために、企業から提供される実データを使ったハッカソンや演習を多く用意しています。自分の手で試し、仲間とアイデアを出し合い、失敗を重ねながら工夫して乗り越えていく。その積み重ねが、本物のスキルへとつながります。

基礎的なデータ分析から最新のAI技術まで、段階的に学べるカリキュラムを整えており、大学生はもちろん、高校生の皆さんにも広く開かれています。ここで得られる経験は、大学での学びにも将来の進路選択にもきっと役立ち、自分の可能性を広げてくれます。

私たちと一緒に、新しい学びへ一歩踏み出しましょう。実践的なスキルを磨いて、データが拓く未来に挑戦していきましょう。

## 沿革

- 2017.12 データ・インテリジェンス教育研究部門 設置準備室を開設
- 2018. 4 データ・インテリジェンス教育研究部門 発足
- 2018. 7 株式会社オークワと連携協定締結
- 2018. 8 株式会社サイバーリンクスと連携協定締結
- 2018.12 総務省統計局・独立行政法人統計センター・和歌山県と三者連携協定締結
- 2019.5 株式会社紀陽銀行・紀陽情報システム株式会社と三者連携協定締結
- 2022.8 「データサイエンスへの誘いコース」が文科省数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度「リテラシーレベル プラス」に選定
- 2023.8 「データサイエンスへの誘い 応用基礎レベルコース」が文科省数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度「応用基礎レベル プラス」に選定
- 2025.3 株式会社 Miki と連携協定締結
- 2025.4 データ・インテリジェンス教育研究部門からデータ・インテリジェンス教育研究センターへ改組

## 官公庁・産業界との連携

### 講師派遣・教育コンテンツ開発



- 総務省統計局
- 独立行政法人統計センター 統計データ利活用センター
- 和歌山県データ利活用推進センター

### 連携協定・演習環境・演習用データ提供・技術指導等



## データ関連人材育成プログラム関西地区コンソーシアム



**連携校** 大阪大学・神戸大学・京都大学・滋賀大学・奈良先端科学技術大学院大学・大阪公立大学等

- 標準カリキュラム提供
- 単位互換
- eラーニング科目相互利用
- インターンシップ（企業・学生マッチングイベント実施）等



## 本学のデータサイエンスの学びは、 文部科学省から認定を受けています

令和5年8月、「データサイエンスへの誘い（応用基礎レベル）コース」が文部科学省から  
“数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）プラス” に認定されました。  
「学生がデータを使って問題を解決できる力を身につけられる」と国が認めた大学だけが選ばれます。

大学等单位でプラス選定された教育機関は、**近畿で2機関**です。（令和7年12月時点）

## すべての学部・学環生が受講できる！

全学生を対象に、一貫した教育プログラムを構築しています。

全員が基礎から発展的内容まで横断的に学ぶことができます。

1年次から大学院・社会人まで、連続した内容、実施形態でプログラムが受けられます。

### 地元企業・官公庁との連携による “実データ演習”が可能



授業では、実際に企業や官公庁が持つデータを使って演習をします。社会のリアルな課題に触れながら学べるのが、実践的である理由の一つです。

### 動画による “オンデマンド型授業”を導入

教員の顔が見えるオンデマンド型授業です。時間や場所を選ばず学べること、繰り返し視聴できることが利点です。



### オープンバッジで “学習成果見える化”

自分の学びがどこまで進んだか、深度がバッジで分かる仕組みがあります。自分自身の成長を実感しやすいのが特徴です。



▶ 5ページ参照

### 多様で充実した “サポート体制”で学習を支援

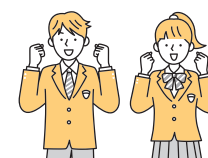
チャットボットの導入やMoodleの「質問コーナー」、オンラインサポート室の設置など、質問・相談が気軽にできる環境を整えています。オンラインサポート室では受講生同士の交流もできます。



▶ 4ページ参照

### 高校生向け “先取り履修”をスタート

高校生を対象に科目等履修生（先取り履修）の受け入れを令和7年度より開始しました。



当センターから教員が各高校へ出向き、出張授業も行っています。

▶ 6・7ページ参照





# データサイエンスを楽しく段階的に身につけて データサイエンティストになろう!!

## データサイエンスへの誘いコース

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に認定▶▶▶

✓ **すべての学部・学環生が必修科目として全員受講!**



修了要件



「データサイエンスへの誘いA」  
「データサイエンスへの誘いB」の  
2科目を修得

## データサイエンスへの誘い 応用基礎レベルコース

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に認定▶▶▶

✓ **すべての学部・学環生が受講可**



修了要件



プログラム構成科目(10科目、14単位)のうち  
10単位以上を修得

1年次

1st year

2年次

2nd year

3年次

3rd year

## | Support | 多彩な学修サポートで楽しく学べる

- オンデマンド教材・BYOD学生必携パソコン・Teams・eラーニングシステム・掲示板・チャットボット等を活用した修学サポート
- EXCEL・BIツール演習・JupyterHub等を活用したR、Python演習



オンデマンドで繰り返し学べる



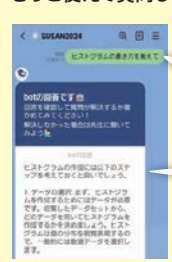
気軽に質問しやすい



教員やTAが修学サポート

### チャットボット

さっと使って質問しやすい!



学生の質問  
(具体的)

システムの  
自動応答



他の人の  
質問も参考に  
できる

学生の質問  
(あいまい)

大学院・社会人

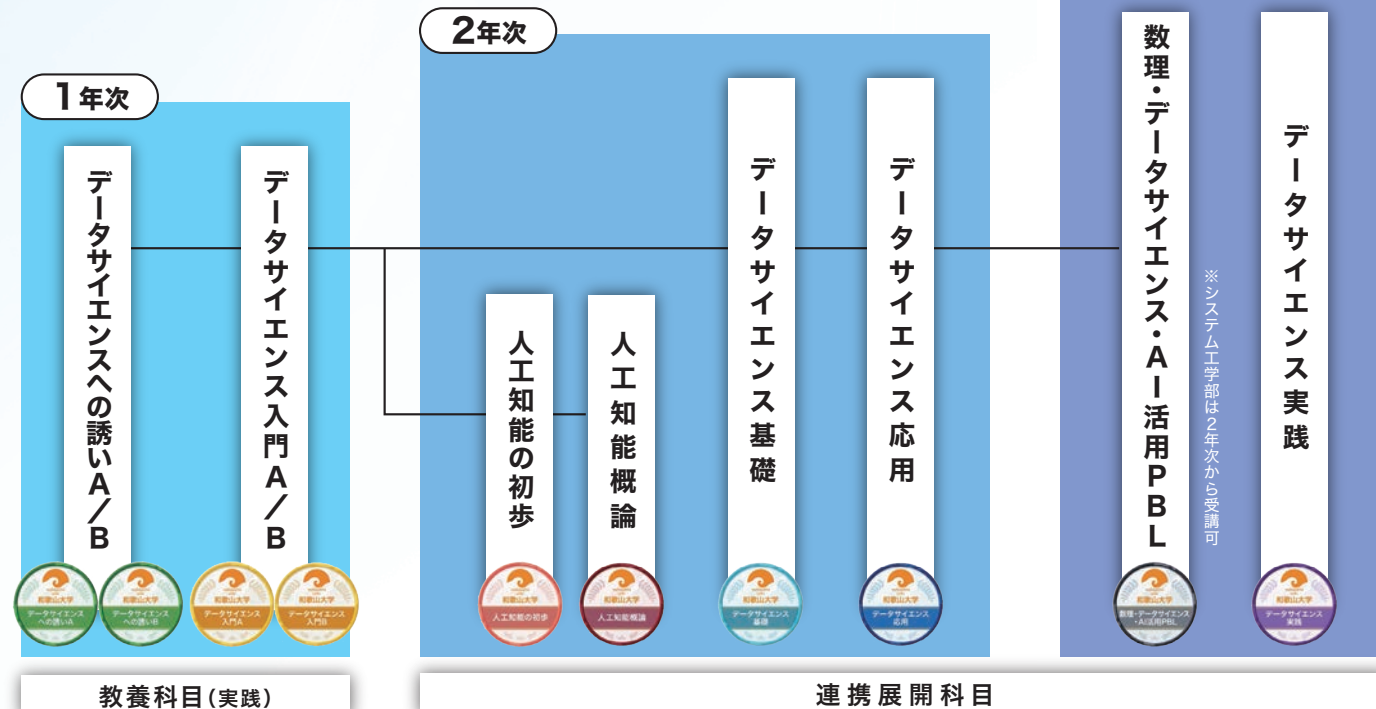
**PBL演習**  
(実践的データマイニング1・2)



## | Certification | 各科目と単位取得の積み上げオープンバッジを発行

■ 学修履歴をデジタルで証明! 一生涯みなさんの役に立ちます

※教育プログラムの修了証として、デジタル修了証の一つである「オープンバッジ」を導入しています。



データサイエンス・AIの基盤的な知識



ブロンズレベル

Pythonプログラミングの基礎スキル



シルバーレベル

データサイエンス・AIの応用課題に取り組むためのスキル



ゴールドレベル

実践的にデータサイエンス・AIを活用するための知識・スキルを備えた応用基礎力

ダイヤモンド  
レベル



文系・理系問わずダイヤモンドレベルを目指して、がんばりましょう!!

### オープンバッジ授与式

データサイエンス・AI科目群から10単位を修得した学生に、オープンバッジ「ダイヤモンドレベル」を授与します。

毎年対象学生に対して、記念品授与式を開催し、手渡しています。皆さんも「ダイヤモンドレベル」を目指して、頑張ってください!



### データサイエンスハッカソン

データサイエンスハッカソンを南紀・白浜で開催しています。

1年生から大学院生を含む選抜チームが学内外から参加し、データ分析による課題発見・解決の技能を競います。優秀チームにはメダルを授与します。2025年は2泊3日の合宿形式で行いました。





# 「わかる」だけじゃない、 「今すぐ使える」スキルを高校生へ。 未来の学びへ飛び込もう！



## 高大連携・先取り履修プログラム

高校生の皆さん、大学の授業を  
先取りで体験してみませんか？  
データを扱う仕組みがわかる人気の授業です。

「データサイエンスへの誘い A/B」が、高校生から学べるようになりました。  
初めてデータサイエンスに触れる人に向けた入門科目です。  
データを分析・活用する楽しさや大切さを学べます。

和歌山大学へ  
入学すると、申請により  
**卒業に必要な単位**として  
認められます

### POINT



#### 教員による出張講義実施中

- データから面白い発見をする方法を学ぼう！
- 親に話したくなるネットの話！

内容や講義時間はご希望に応じて調整して実施しています。



達成感がある！

### point 1

手	を		
動	か	し	て
学	ぶ		

演習課題を自分の手で解いていきます。  
目の前の問題を論理的に解決する  
力が身につきます。



高校時代は数学  
といえば座学という  
印象でしたが、  
データサイエンス  
は学んだ理論を実  
際に形にして活用  
するところまでが  
一つの流れになっています。文系的な  
発想と理系的な知識の両方が求めら  
れるため、**数学が苦手な方でも取り組  
みやすい**学問です。

中松 陽人  
社会インフォマティクス学環3年(2025年度)  
東大阪市立日新高等学校 出身



大学では想像以  
上にエクセルを使  
う機会が多く、授  
業で学んだ基本  
操作がとても役立  
ちました。オンデ  
マンドだから理解  
できるまで繰り返して動画を見られる  
のも助かります。「ダイヤモンドレベル  
バッジ」の獲得を目指して頑張ります！

北東 花音  
システム工学部2年(2025年度)  
和歌山県立桐蔭高等学校 出身



最初はデータがた  
だの数字に見えて  
戸惑いましたが、  
グラフ化や整理を  
すると一気に役立  
つ情報に変化しま  
す。**データの価値  
を発見できた瞬間が一番楽しい**です。  
企業のHPで実績をみるといった場  
面で、数字への苦手意識がなくなった  
と実感しています。

森脇 蒼誠  
社会インフォマティクス学環3年(2025年度)  
和歌山県立那賀高等学校 出身



### point 2

好	き	な	場	所	・
時	間	で	学	ぶ	

授業は遠隔で実施します。  
マイペースに学びを進められます。  
質問は「オンラインサポート室」で  
先生や先輩にフォローしてもらえます。

交流もできる！



友人と一緒に授業を聞き、疑問を協力して  
解決したので学習がスムーズでした。プ  
ログラムの最後には地元企業の実データ  
を用いた実践的な授業にも挑戦しますが、  
仮説を立てて分析・評価し経営戦略を考  
えるという体験は、**データ活用の全体像  
を学ぶ貴重な経験**になりました。

高山 伊織 システム工学部4年(2025年度) 和歌山県立桐蔭高等学校 出身



週に1度のオンラインサポート室は、**大学  
に行かずに先生に質問ができる**ため利用  
しやすかったです。講義はオンデマンド  
形式なので、大阪の自宅や旅行先の宿で  
受けたこともありました。IT系の仕事で  
できる人材は需要も高く、少しでも興味  
のある方はぜひ受けて欲しいです。

持田 麻友 社会インフォマティクス学環2年(2025年度) 大阪府立東高等学校 出身



オンデマンド授業だけでなく、オンライン  
サポート室で直接質問や会話すること  
で、先生と双方向の関係が築かれてい  
る感じました。AIの登場など、激しい  
時代の変化に合わせ、常に**先生方が新し  
なことに挑戦している**姿が印象的でした。

井口 拓己 ソニー株式会社  
大学院システム工学研究科修了(2024年度) 近畿大学附属和歌山高等学校 出身



何かを相手に伝えたいとき、経験や勘  
だけでは説得力が弱く、ぼんやりした  
提案になってしまいがちです。データ  
を用いて根拠を示すことで、**自分の意見  
に自信が持てる**ようになりました。発表  
も相手に信頼される内容になったと感じ  
ています。

門田 琉生  
社会インフォマティクス学環3年(2025年度) 和歌山県立星林高等学校 出身



将来に役立つ！

### point 3

		未	来	に
		活	か	せ
ス	キ	ル	を	学
				ぶ

データから「正しさ」を見つける能力が  
身につきます。活用・分析方法を考えるのも、  
データサイエンスの楽しさの一つです。



文系だから難し  
い、関係ないとい  
うことは全くあり  
ません。データ  
を見つめるだけ  
でなく、**自分なりに  
読み解き新たな  
価値や可能性を見  
つけ出す力**は、商  
品企画や売上分析  
など社会のあらゆる  
場で生きてくると  
感じています。

辻脇 大祐  
経済学部4年(2025年度)  
和歌山県立橋本高等学校 出身



データサイエンス  
を学んだことで、  
データを鵜呑みに  
せず**本当に必要  
な情報を見抜く力**  
が培われました。  
現在は授業の動  
画や課題を通して  
身に付けた技術を  
生かし、生成 AI(LLM)  
によるコーディ  
ングにおいての要件  
・設計・ソース  
コードの整合性  
について研究して  
います。

田井 聖風  
システム工学部3年(2025年度)  
和歌山県立那賀高等学校 出身



実データの分析か  
ら企業へのプレゼ  
ンまで経験できる  
大学はかなり珍  
しく、とても刺激  
的でした。パソ  
コンに不慣れだ  
ったため独学  
での習得は厳  
しかったと思  
いますが、**先生方  
が一から丁寧に  
教えてくださ  
り、今の私の技  
術力の基盤とな  
っています。**

嶋田 さん  
ソニーグループ株式会社  
システム工学部卒業(2023年度)





国立大学法人

和歌山大学

お問い合わせ

和歌山大学

データ・インテリジェンス教育研究センター事務室

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 Tel: 073-457-7195

Mail: dtier@ml.wakayama-u.ac.jp

<https://www.wakayama-u.ac.jp/dtier/>

和歌山大学 DTIER

検 索



和歌山大学 データサイエンス授業 紹介動画



データサイエンス 和歌山大学 Youtube

検 索